

脱炭素工場

中部電カミライズと脱炭素化の取り組み

徹底的な省エネ

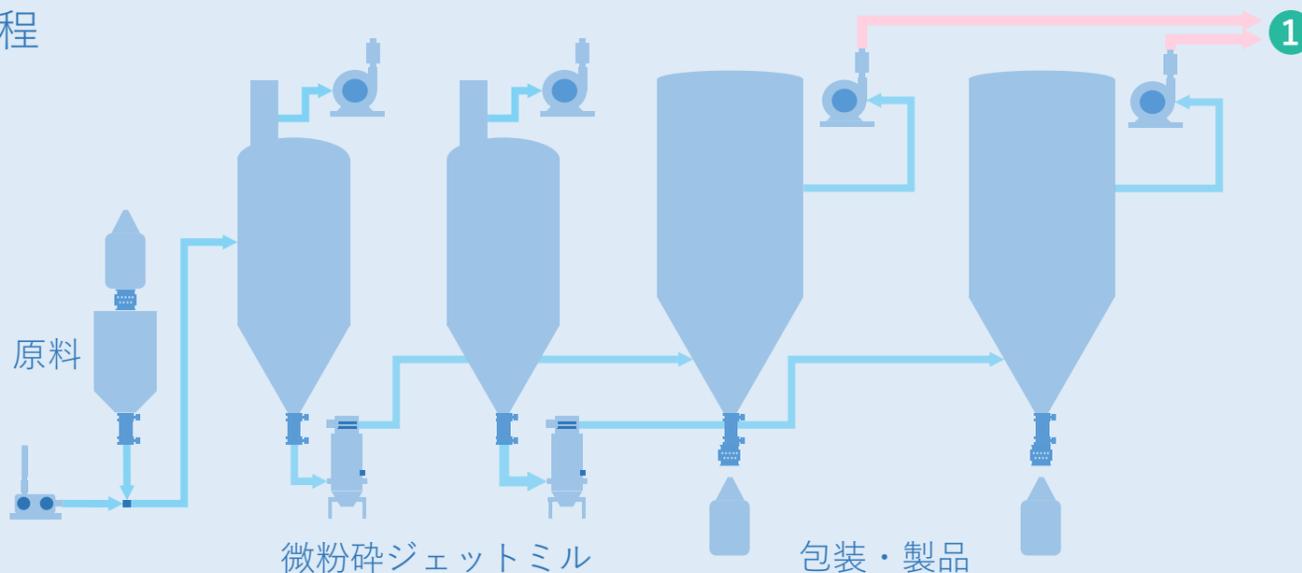
- ① 生産工程からの廃熱回収
- ② 過熱装置の廃熱利用
- ③ 廃熱回収コンプレッサー導入
- ④ エネルギー監視による最適運用



カーボンニュートラル エネルギーの活用

- ⑤ CO₂フリー電気の活用
- ⑥ カーボンオフセットガスの活用

生産工程



ユーティリティ設備



エネルギー

CO₂フリー電気



⑤

カーボンオフセットLNG



⑥

④ コントロール 

CO₂排出削減量

“DIA” 製造・販売量 2025年～ 2027年～ 2030年～ 2035年
 10,000t/年 50,000t/年 100,000t/年

従来タルク代替の効果

製造時のCO₂排出試算

従来タルク 0.39t-CO₂/t
 “DIA” 0.00t-CO₂/t

▲3,900
t-CO₂/年

▲19,500
t-CO₂/年

▲39,000
t-CO₂/年



※自社調べ

独自の製造と廃熱利用で温室効果ガス削減